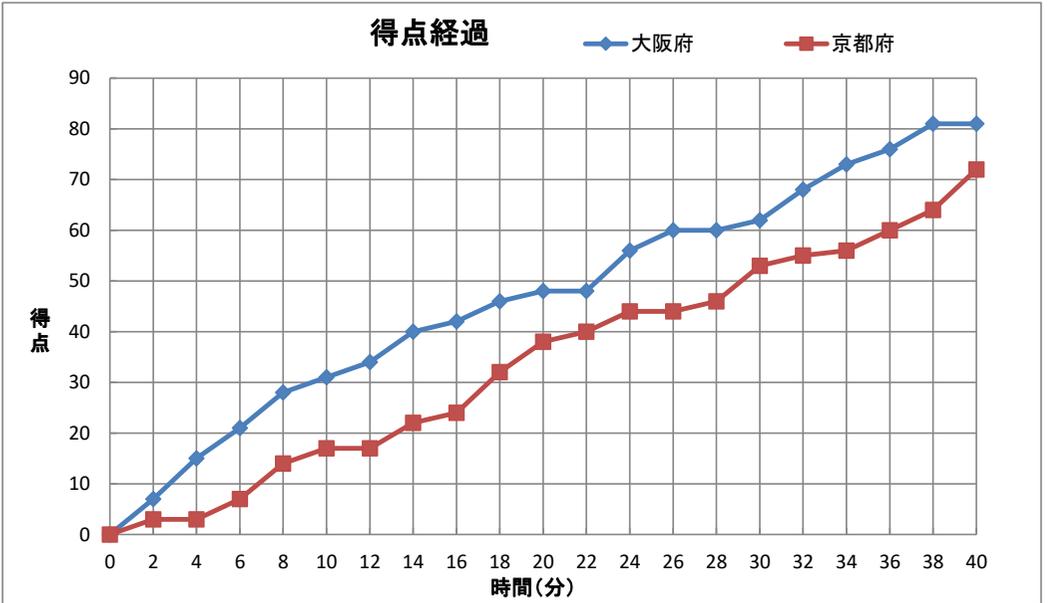


個人トータル表

成年男子		令和5年8月13日		15:00 開始													
決勝		グリーンアリーナ神戸		A													
◎ 大阪府		81		72 京都府													
		<table border="1"> <tr><td>31</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>19</td></tr> </table>		31	1st	17	17	2nd	21	14	3rd	15	19	4th	19		
31	1st	17															
17	2nd	21															
14	3rd	15															
19	4th	19															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	池原 慶紀	10	2	1	2	2	* 4	河合 祥樹	5	1	1	0	0				
* 5	石塚 裕也	12	0	6	0	2	5	藤原 瞭我	7	0	3	1	0				
* 6	池嶋 一輝	14	2	4	0	1	6	島倉 欧佑	-	-	-	-	-				
7	会田 太朗	10	0	4	2	3	* 7	松野 圭恭	21	4	4	1	1				
* 8	廣山 雅尚	7	1	2	0	3	* 8	伊藤 諄哉	7	1	2	0	1				
* 9	能登 慎也	5	1	1	0	0	9	福田 侑介	6	2	0	0	0				
10	岩崎 光瑠	0	0	0	0	0	10	齋藤 蓮人	9	1	3	0	0				
11	高木 拓海	9	3	0	0	4	11	藤田 兼士朗	8	0	3	2	1				
12	香川 弘樹	4	0	2	0	1	* 12	宮脇 隼人	0	0	0	0	4				
14	太田 凜	10	2	2	0	1	13	谷口 達朗	2	0	1	0	0				
		-	-	-	-	-	* 14	寺部 亮佑	7	0	3	1	0				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
コーチ	中島 英文						コーチ	玉島 大蔵									
Aコーチ							Aコーチ										
合計		81	11	22	4	17	合計		72	9	20	5	7				
クルーチーフ: 早 崎 康 祐 1stアンパイア: 佐 藤 慎 士 2stアンパイア: 西 川 恵 輔																	



TO	1・2Q	3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	37:21	:	:	:	:
TeamB	3:51	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕

【第1Q】大阪はマンツーマン、京都はゾーンディフェンスでスタート。大阪は#8廣山のドライブから#5石塚が合わせ先制。#5石塚はオフェンスリバウンドからゴール下をねじ込み加点。京都は#7松野の3Pが決まるも、大阪は#6池嶋、#4池原が連続して3Pを決め引き離す。#6池嶋のブレイクが決まり15-3となったところで京都がたまたまタイムアウトを要求した。タイムアウト後も大阪の勢いは止まらず#5石塚、#6池嶋が活躍し更にリードを広げる。京都も#4河合、#8伊藤がミドルシュート決め意地を見せるも大阪は#14太田の3Pやブレイクが決まる。京都も終盤#7松野が3Pを決め点差を詰めるが31-17で第1Qが終了した。

【第2Q】大阪は#14太田のドライブに#7会田が合わせリードを広げる。更に#14太田の3Pも決まりベンチが総立ちになる。京都は#7松野が連続得点し点差を詰めるも大阪は#12香川のオフェンスリバウンドからゴール下をねじ込み譲らない。京都は#11藤田がオフェンス、ディフェンス共に頑張り点差を詰める。大阪は#9能登のスティールからのブレイク、#6池嶋のポストプレーで加点するが京都が#10齋藤、#9福田の3Pが連続で決まり10点差まで点差を詰め前半が終了した。

【第3Q】京都#7松野がドライブを沈め点差を詰める。大阪は#4池原、#11高木が3Pを連続で決め引き離す。京都も#9福田が3Pを決め譲らない。お互いにディフェンスを頑張り激しい攻防の中、大阪#4池原がするドライブで加点する。京都も#14寺部がオフェンスリバウンドからゴール下をねじ込み意地を見せる。62-53と大阪が9点差をつけて第3Qが終了した。

【第4Q】大阪#8廣山がオフェンスリバウンドからゴール下をねじ込み加点。#12香川のドライブも決まりリードを広げる。京都は#5藤原がミドルシュート決め譲らない。大阪は#8廣山、#11高木の3Pを決め加点、京都も#7松野、#5藤原がドライブを決め意地を見せる。後のない京都はディフェンスを頑張り勝負をかけるも試合巧者の大阪がかわし、最終スコアは81-72で大阪が優勝を決めた。両チームの本国体での活躍を願いたい。

戦評: 小川 真哉 記録: 県立西宮高校